

「切れる」と「キレル」に関する マインドマップ調査について

李 曉 娜

1 はじめに

留学生が学習した日本語の意味と用法は、現在の日本語とずれている場合がある。「最近の子どもはささいなことで、よくキレル」という言い方があるが、国語辞書を引いても、「キレル」を見出し語にしたものは掲載されていない。日本人には理解できるが、留学生には教えられていない。「キレル」は「腹が立つ」「ぶっつん」「怒る」「頭に来る」などの表現との関連がある。従来の「切れる」と「キレル」ではニュアンスが違い、異なる意味合いを持っていると思われる。日本では多方面から、「キレル」が問題になっているが、本稿では言語的な面から考察したい。

本調査を通して、「切れる」と「キレル」は使用例にどのような区別があるのか、イメージの面ではどう違うのか、どのような意味範囲で用いられているかを検討したい。

2 先行研究

1998年の年頭に中学生が教師を刺殺する事件があり、「キレル」は中学生が使った言葉として注目された。『朝日新聞』1998年2月6日付朝刊には、「西日本各地の街で5日、50人の中学生（うち男子35人）に聞いた。事件を語るキーワードともなる『ムかつく』『キレル』という言葉を使っている中学生は9割以上で、ほとんどが教師や親など大人に向けられていた」との記事が掲載されている。この事件を起こしたのは不良少年ではなく、むしろ普通の子であったことから、社会学、医学、教育学、心理学などいろいろな分野からの検討が始められた。

社会学の分野では石田（1998）が『キレル子、キレない子』の中で親は口数を減らし、聞き上手になろうと提唱している。また少年によるナイフ刺傷事件などの社会問題や子どもの文化的背景について考察している。

医学の分野では倉治（1999）が『キレル理由は歯にあった』として小児歯科学の角度から、「かむ刺激は脳の行動の原動力、人間としての能力、豊かな心を開花させる」としている。「キレル子ども」が急増している一因は、歯によってかむ刺激に関係があるのではないかと説いている。

心理学の分野では、教育カウンセラーの青木（2000）が虐待、いじめ、少年犯罪などの5例を紹介して、事件に関わった子どもたちを「キレル子どもたち」として捉え、そこに至ったプロセスを追いつながら、周囲の大人がどう対処すべきかを考察している。宮下・大野（2002）も危機に瀕している青少年の心に焦点を当て、現状や具体的な対処法について述べている。

教育学の分野では星（2000）がキレやすい思春期の子どもをキレさせないためには、どうすればいいのか、親子の信頼関係は、どのようなコミュニケーションで作られるのかなどについ

て述べている。本田（2007）も同じ分野でキレにくい子を育てるために、キレる原因、行動特性、キレる子どもたちへの学校面での対応など、子どもたちの健康な面を発達させる活動の促進を提唱している。

言語学の分野での先行研究はほとんど見られないため、本稿では辞書の記述から見ていく。

3 辞書類の記述

『明鏡国語辞典』（2002）には「〔俗〕抑制を失って見境なくいらだったり逆上したりする。ぷっつんする」という語義と「きれて衝動的な犯罪に走る」の例文が示され、表記として「多く『キレる』と書く」とある。『日本国語大辞典（第二版）』（以下『日国』と省略）には、「切れる」という形で10番目の意味項目として「（こらえていた気持が途切れて）逆上する。多く、現代の若者が用いる」と記している。『広辞苑（第六版）』（2008）においても「切れる」として「我慢が限界に達し、理性的な対応ができなくなる」という意味記述がある。『日国』『広辞苑（第六版）』ともに、「キレる」という表記では見出し語としても用例としても示していない。

3-1 『現代用語の基礎知識』における掲載

1983年から2006年までの『現代用語の基礎知識』（自由国民社）において、「切れる」類、「キレる」類、および関連の「むかつく」類の掲載の有無を次の表1に示す。掲載があった語はそのまま載せ、無かった場合は×を付けた。

表1 『現代用語の基礎知識』1983～2009年における掲載

	切れる類	キレる類	むかつく類
1983	×	×	むかつく (注1)
1984	×	×	×
1985	×	×	むかつく
1986	×	×	むる/むかつく (注2)
1987	切れてる (注3)	×	×
1988	切れてる	×	むかつく/むる (注4)
1989	きれてる (注5)	×	むかつく/むる
1990	×	×	むかつく
1991	×	×	×
1992	切れる/きれてる (注6)	×	むかつく/ぜえ (注7)
1993	きれてる	×	むかつく/むる
1994	×	×	むかつく/むる
1995	×	×	むかつく/むる
1996	切れる	×	むかつく/むる
1997	切れる	×	むかつく/むる
1998	切れる (注8)	×	むかつく/むる
1999	きれてる	キレル (注9)	むかつく/むる/むっかー

2000	×	キレル	×
2001	×	キレル	(注10) むかつく
2002	×	キレル	むかつく
2003	×	キレル	(注11) むかつく
2004	×	キレル	むかつく
2005	×	キレル	むかつく
2006	×	キレル	むかつく/ムカツクー (注12)

注1：1983年に「切れる」に近い意味合いを持っている「むかつく」が若者用語として初めて掲載された。「頭にきたりした時使う」と示している。

注2：1986年に、「むかつく」と「むる」は別項目で掲載されているが、二語とも「腹が立つ」としている。

注3：1987年に「切れてる」が若者用語として初出した。意味として「おかしい。狂ってる」としている。

注4：1987年に「むかつく」と「むる」の二語とも掲載されていなかったが、1988年には一つの項目の中にその二つの語が含まれている。「いやだと思う。気に入らない。好かない。『腹が立つ』より広い意味で用いる。特に女子中、高校生が好む」と示されている。

注5：「切れてる」という形で1987年と1988年の二年連続掲載されているが、1989年には漢字の代わりに、「きれてる」とひらがなで表記され、「考え方が普通ではない。頭がおかしい」とある。

注6：1992年に「切れる」と「きれてる」二つの形が別の項目で掲載されている。意味合いとしては、前者は「1、縁が切れる、つき合いをやめる、振られる。『あの子とは切れちゃった』 2、かっとなる、頭にくる」、後者は「頭の回路が切れている プツンの言い換え」と掲載されている。

注7：1992年には「むかつくぜえ」という語が一回だけ掲載されている。

注8：1998年には「MK5」（まじ切れる5秒前）「MM」（まじむかつく）「超MM」（超まじむかつく）などの類義語が掲載されている。

注9：1999年版に初めて「キレル」との表記で掲載され、2000年版からは「キレル」との表記で掲載された。以降ずっと「キレル」で表記されている。その中に「逆ぎれ」「ぶちぎれ」「まじぎれ」「めたぎれ」が掲載された。「『逆ぎれ』は冷静な方が急に怒り出すこと、『ぶちぎれ』と『まじぎれ』は本当に頭に來ること、『めたぎれ』はめっちゃくちゃにキレルこと」としている。

注10：「がんぎれ」が初めて掲載されて、「ぶちぎれ」と同じように「本当に頭に來ること」とされている。

注11：2003年から「がんぎれ」「まじぎれ」の表記から「ガンギレ」「マジギレ」のカタカナ表記に変わった。

注12：カタカナ表記「ムカツクー」は「むかつく」と同じ項目で、2006年に初めて掲載された。意味としては「むかむかする。腹が立つ」とある。2006年から2009年の掲載状況は2006年と同じである。

3-2 「キレル」と「る」ことばの関係

『現代用語の基礎知識』の1999年版に初出の「キレル」であるが、カタカナで表記する語は以下の二つの可能性が考えられる。一つは「ガチャガチャ」「プツン」「カチカチ」のような擬音語、擬態語である。もう一つは「サボる」「パニる」「オケる」などの外来語由来の言葉であり、米川（1996）はこういう接尾語「る」をつけて動詞化する造語法を「る」ことば」としている。つまり、述語動詞を「る」で代行させ、「デニーズで食事をする」というところを

「デニる」、「事故を起こす」というところを「事故る」と短く簡潔に表すことばである。

「る」ことばの起源については、鄭〔2007〕は以下のように指摘している。「る」ことばは近年始まったことではなく、昔から造語能力の強いものであって、江戸時代からあったようである。1841年〔天保12年〕の『春色梅美婦欄』の中には「盗賊（どろぼう）を退治るつもりで出かけやせう」という例が載っている。「退治る」は江戸時代の若者語であったと思われる。若者語といえば流行語のように生まれては消えてしまい、死語になった言葉もあるし、長い間使われている言葉もあって、「退治る」は俗語であるが、『広辞苑（第六版）』にも載っている。

「る」ことばの語構成は、「サボる」のように外来語から変化したものもあれば、「事故る」のように漢語から変化したものもある。さらに、「きゃびる」のように「きゃびきゃび」という擬態語から変化したものもあり、語構成は様々である。

三宅（2002）は「乱れ」と規則性の関係を探り、文法的に共通性を持っているのは、ル動詞はすべて五段型の活用をしようと言っている点である。三宅（2002）のル動詞というのは、米川（1996）の「る」ことばのことである。稲垣（2006）は、尻尾に「る」をつけて縮約する「る」ことばは若者造語らしく、遊戯性があり、現代の若者ことばの特徴としている。窪蘭（2006）は、名詞の短縮形から派生し、基本的に名詞の語頭の2モーラ〔拍〕を残し、「る」を付けて動詞化した形について述べている。窪蘭（2006）は、今も昔も、若者言葉に見られる短縮語の大半は、「初めが肝心」という略語の大原則に従い、さらには、「語頭の二モーラを残す」という日本語の伝統的な規則にも従っていると述べている。

鄭（2008）は「ル言葉の表記にはカタカナ表記、漢字表記、ひらがな表記の別があり、拍数においては、3拍語のル言葉が一番多く見られる」としている。つまり、「る」ことばの中には「語頭二モーラ+る」の形が多いが、二モーラに限らず、「退治る」「皮肉る」のように語頭の「二文字+る」も少なくない。

「キレる」という形は、遊戯性があり、現代の若者言葉であり、語頭が二モーラなので、「る」ことばだと思われるかもしれないが、「る」ことばは全て「一語の短縮化+る」の複合動詞であり、五段動詞の集まりである。「キレる」は「短縮した語+る」ではなく、もともと一つの言葉で、下一段活用の動詞であるため、「る」ことばとしては認められない。

3-3 研究方法

本調査では、「切れる」と「キレる」に関してマインドマップという形式を用いた。マインドマップとは、1970年代はじめにトニーブザン（Tony Buzan；1993=1996）らが提唱した記述法で、「心の地図」の意味である。具体的には、一枚の紙の中にテーマ（あるいはアイデア）を描いて、それに関連するさまざまな情報や発想やアイデアを、枝を伸ばすように、放射線状に次々と描（書）いていく方法である。人間の脳の意味記憶の構造によく適合していると言われている。実際の例としては、次の図1のようになる。

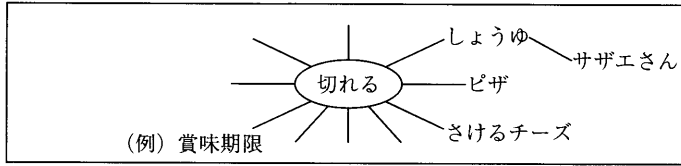


図1 マインドマップの例(中心テーマ:切れる)(20代、学生、女)

陳(2009)は、中日同形語「先生」を中心にして、その意味機能の異同分析のためにマインドマップを用いている。許(2009)も中日文化の比較研究の中で、マインドマップ調査法を利用している。佐々木(2008)も中国と日本の「鬼」についてのイメージの差異を研究するため、マインドマップ調査法を使用している。

本稿では、「切れる」を中心概念として実施したマインドマップ調査の結果を以下に示す。

4 マインドマップ調査

4-1 マインドマップの調査概要

マインドマップ調査は2006年12月から2007年1月にかけて実施した。

全回答者数は155名、有効回答数は138名(男性43名、女性95名)で、主に学生を対象にしたため、学生111名、社会人27名であった。年代別の内訳は10代10名、20代105名、30代7名、40代10名、50代4名、60代以上2名であった。(回答者の出身地別内訳省略)

4-2 「切れる」に関する調査結果と分析

「切れる」と「キレル」を中心テーマとして、マインドマップを利用した調査表(別添資料1)を日本人に配布し、今回の調査において、中心概念「切れる」と「キレル」から枝を伸ばして、二語から連想する言葉や表現を書き出してもらった。また、気づいたことを自由に記述してもう自由記述欄を設けた。回収したデータを分類し、独自の集計、分析を行った。

上記の調査結果を以下に示す。「切れる」に関する調査結果において、出現した延べ語数は897、異なり語数は201であった。意味分類は『日国』における意味記述をもとに行ない、その簡略義と調査結果の出現度数(数)および出現順位(順)を次の表2に示す。

表2 『日国』における意味分類

	『日国』における意味記述	簡略義	数	順
(一) つながっているもの、続いているものなどが分れ離れる	1、一続きになっていたものが、分れ離れる。	分離義	185	1
	2、傷ついたり、裂け目ができたりする。	負傷義	59	5
	3、結びついていたものが離れる。また、つながっていた関係が断たれる。特に、関係があった男女が離別する。	離別義	72	4
	4、音信、話、また、持ち続けていた気持ちなどが絶える、または断たれる。	音信不通義	34	7
	5、(命が)とだえる。死ぬ。	死亡義	1	12

	6、いき(息)が切れる。	息切れ義	7	9
	7、並び続けているものが、とだえる。また、囲碁で、石のつながりがつかなくなる。	不連続義	0	-
	8、使ったり売れたりして、物が尽きる。	在庫切れ義	77	3
	9、ある定められた時間が尽きる。	期限切れ義	37	6
	10、(こらえていた気持ちが途切れて) 逆上する。多く、現代の若者が用いる。	逆上義	17	8
(二)「事切れる」に形で用いられる	1、物事が定まる。	決着義	0	-
	2、(物事の結末がつく意から) 息が絶える。	死亡義	0	-
(三)その他	1、刃物などで、力を加えて、物を分け離すことができる。鋭い切れ味をもつ。	切れ味義	168	2
	2、(転じて) 物事をうまく処理できる。また、そういう頭脳、手腕をもつ。	賢明義	34	7
	3、勢力をもつ。幅がきく。	勢力義	0	-
	4、金銭などを惜しみなく手放す。気前よく行なう。	気前よい義	3	10
	5、まっすぐ進まないで、横へそれる。また、道などを進んで行って、右または左へ曲がる。	それる義	2	11

4-3 意味分類ごとの分析

『日国』の意味分類と直接に関連する語は対象語と、連想された語は関連語と、直接に結び付かない語はその他とした。語の後ろの数字は出現度数を示し、数字のない場合は、出現度数が1であることを示す。簡略義ごとの出現度数を()内に示し、度数の多い順に示す。

4-3-1 「分離義」の集計結果

(出現度数=185)

対象語	糸56 紙26 紐17 チーズ10 髪7 テープ5 コード3 電線3 流れ3 布3 鎖3 弦2 ベルト2 鼻緒2 回線 下駄の緒 切れてるチーズ スライス チーズ さけるチーズ しっぽ 張り詰める線 ロープ 毛 道 道路 衣類 服 袋 調味料のはし 雲目(以上、具体的な語) 集中力7 話の話題4 緊張の糸2 モチベーション(以上、抽象的な語)	172
関連語	美容師2 切り取り線 枝毛 分離 切れ毛 切れ目 切り口 ミシン目 物体 短くなる どこからでも切れます 切断	13

出現度数は一位が「糸」56、二位が「紙」26、三位が「紐」17であった。出現語は具体的なものが多かった。「紙」は「在庫切れ義」とも考えられるが、「分離義」の意味として広く使われるので、この中に分類することにした。「切れてるチーズ」はあらかじめ切られており、そのまま食べられるチーズの商品名である。この商品のイメージが強いため、「チーズ」が10回出現したものと思われる。「美容師」が2回出現したのは、対象語の「髪」から連想されたと考える。「枝毛」は毛髪の先が枝のように分岐したもので、「切れ毛」は髪の毛が弱った場合など先のほうが切れる場合に言う。「しっぽ」という語は、慣用表現としての「とかけのしっぽ

切り」などからの連想であろう。「雲目」は『日国』などの辞書類には掲載されておらず、「雲間」と同じく「雲の切れ目」の意であろう。

抽象的な語として、「集中力」は出現度数7で、集中力を糸のようにつながっているものと喩えて、それが切れると、気持ちちが糸を切るように萎えるということだと思われる。「話の話題」は出現度数4で、話が線状のイメージがあり、話の種が切れると、話が続けられなくなる状態を示すと思われる。「緊張の糸」に関しては「切れる－緊張の糸－試合」と書いた回答があった。

4-3-2 「負傷義」の集計結果

(出現度数=59)

対象語	指17 手14 血管2 手首	34
関連語	けが7 血5 傷3 あかぎれ2 痛い2 つめ2 歯 病院 危険 痔	25

マップに「傷-血-痛い」「傷-血-病院」と書いている人がいた。「手が切れる」は離別義と負傷義の意味合いが考えられるが、「指」「手首」などとの関連で、ここでは負傷義とした。「痔」は切れ痔のことであると思われる。

4-3-3 「離別義」の集計結果

(出現度数=72)

対象語	縁55 関係7 心と心	63
関連語	別れ2 友情 仲 情意 親戚 離れる 悲しみ バラバラ	9

「縁」は出現度数55で、「関係」は出現度数7であったが、両者は意味的に関連している。「縁が切れる」は慣用表現として幅広く使われており、「関係が切れる」や「手が切れる」も同様の意味合いで用いられている。「悲しみ」「バラバラ」は縁が切れた結果や状態を表している。

4-3-4 「音信不通義」の集計結果

(出現度数=34)

対象語	電話24 やりとり2 連絡2 ケイタイ メール 消息 会話	32
関連語	音 情報	2

「電話」は出現度数24で、人とのやりとりの手段として、不可欠な物であり、「ケイタイ」や「メール」も同様に連想されたと思われる。「音」「情報」は関連語として出現している。

4-3-5 「死亡義」「息切れ義」「不連続義」の集計結果

(出現度数=8)

「死亡義」の意味項目では、「寿命」1語のみであった。「寿命」人間の寿命以外にも、電気製品等の寿命の意味にも用いられるが、ここでは「死亡義」の中に入れた。

「息切れ義」では「息」が7回出現した。「息が切れる」には、「階段を駆け上がったら息が切れた」や「頑張りすぎて途中で息が切れる」などの例で用いれば「息切れ義」であるが、「弟はもう息が切れておりました」のように用いれば「死亡義」の意となる。(『明鏡国語辞典』2002)

「不連続義」での出現は見られなかった。

4-3-6 「在庫切れ義」の集計結果

(出現度数=77)

対象語	在庫5 薬5 インク4 調味料4 トイレットペーパー4 野菜4 食べ物3 お酒3 品物3 砂糖2 水2 スタミナ2 栄養 商品 醤油 ケーキ 米 飲み物 ピザ イチゴ りんご うどん のりバター 牛乳 卵 魚 乳製 品 味噌 洗剤 ガソリン 燃料 ガス 油 灯油 切手 用紙	65
関連語	なくなる6 売り切れ2 ストック2 品切れ 保存	12

「在庫切れ義」として出現した語は日常用品として「インク」「トイレットペーパー」などが見られたが、「野菜」「お酒」のような食品類も多く出現した。「トイレットペーパー」や「切手」は、使用する際に、容易に切れやすいようにあらかじめ加工が施されているものもあり、その連想であれば、4-3-1の「分離義」に区分される。「ガソリン」「燃料」「ガス」「油」「灯油」などは、エネルギー関係の「在庫切れ義」として整理することができる。

関連語としての「保存」などは、保存していたものが「なくなる」の連想であろう。

4-3-7 「期限切れ義」の集計結果

(出現度数=37)

対象語	期限10 賞味期限5 消費期限4 時間3 有効期限3 使用期限2 提出期限 薬の効き目 契約	31
関連語	不他家2 信頼を失う 捨てる ゴミ箱 食べられない	6

「賞味期限」「使用期限」のような「期限」にコード化される語が多く出現した。「切れる-賞味期限-不他家」と連想した人が二人いる。「不他家」というのは食品会社名であり、期限切れの食品を売っていた2006年の事件からの連想で出現したのであろう。関連語としては、「食べられない」「捨てる」など、賞味期限が切れた後の行為が連想されたのであろう。

4-3-8 「逆上義」の集計結果

(出現度数=17)

対象語	堪忍袋の緒4 堪忍の緒 若者 神経	7
関連語	おこる キレル プツン ぶち切れる すぐに 怖い 短気 マイナスの イメージ +- 終わる	10

「キレル」の語源については諸説あるが、「堪忍袋の緒が切れる」から「切れる」を採った説と、激しく怒ったり興奮した場合、こめかみに青筋（静脈）が浮き立つが、その血管が「切れる」様相を表わしたとする説が有力である。(http://ja.wikipedia. 2009年9月27日検索)

『日国』によると、「堪忍袋の緒が切れる」は「堪忍袋の緒を切らす」と同じ意味合いであり、「もうこれ以上がまんしていることができなくなる」の意。こらえにこらえた怒りが爆発して、行動にあらわれる。「堪忍袋の緒が切れる」という慣用表現は、談義本・教訓雑長持（1752）の中に「世俗の癖に、最早（もはや）堪忍袋（カンニンブクロ）の緒（ヲ）が断（キレ）たといふが、あれはいかひ誤（あやまり）じや。緒が断たらば、なぜ早ふ継足（つぎた）さざるや」と出ており18世紀から用いられていたことがわかる。『日国』によると、昔から「キレル」は「断」で表記したり、「切」で表記したりしていたが、近年になって「切」に統一されたことが分かる。「堪忍の緒」も一回出現したが、意味としては「堪忍袋の緒」と同様に使われている。

「キレル」は「切れる」とは別語のように用いられているのではないかとの予想もあったが、

対象語として「堪忍袋の緒」4回が出現し、「キレル」「マイナスイメージ」「おこる」「ぶち切れる」などの語が出現し、「キレル」は「切れる」と同根であるとの証左が得られた。

擬態語の「プツン」が関連語として1回出現したが、『日本語俗語辞書』に「ぶつつん」という表現は1990年までは漫画の中で使われ、「キレル」も並行して使われてはいたが、不良仲間や不良マンガで使われる言葉であったとしている。一般に広く使われるようになるのは1990年代に入ってからで、後にキレやすくなった若者が社会問題の一つとして取り上げられるようになった(『日本語俗語辞書』より、<http://zokugo-dict.com/07ki/kireru.htm>)。マンガで怒りを表現する際、こめかみの血管を浮き立たせる描写が使われるが、「キレル」はこのこめかみの血管や脳の血管(回路)が怒りで切れるということに由来するという説もある。本調査でも「プツン」「神経」「すぐに」などが出現したが、「激しく怒ったり興奮した場合、こめかみに青筋(静脈)が浮き立つが、その血管が『切れる』様相を表わした」とする説を裏付けるであろう。

4-3-9 「切れ味義」の集計結果

(出現度数=168)

対象語	はさみ52 包丁41 ナイフ21 カッター15 刃物8 刀4のこぎり4 刃3 かみそり2 ひげそり2 シュレッダー ガラス	154
関連語	切れ味がいい3 スパッと2 まな板2 研ぐ 中華 料理 キッチン イタ リアン フレンチ ベトナム コック	14

「はさみ」52、「包丁」41、「ナイフ」21が上位三位を占めている。対象語では刃物類のものがほとんどであるが、「スパッと」は物を刃物類で鮮やかに切り離すことで、「研ぐ」は包丁が良く切れない場合の関連行為である。「まな板」「料理」「キッチン」などは「包丁」から連想、「イタリアン」「フレンチ」「中華」「ベトナム」は「料理」から連想したと回答者の一人が自由記述欄で書いている。料理人の意の「コック」も関連語として出現している。

4-3-10 「賢明義」の集計結果

(出現度数=34)

対象語	頭24	24
関連語	かしこい2 頭が良い 天才 完了 達成 仕事 仕事ができる 仕事の手際 やわらかい	10

「頭脳」は一回得られたが、「頭」は圧倒的に出現したため、頭をキーワードにしてコード化した。対象語の「頭」が24出現した。「頭が切れる」というのは、日本語の慣用表現で、頭の回転が早く、てきぱきと事を処理する能力があるという意味である。そこから「仕事ができる」「達成」などが関連表現として連想されたと思われる。「やわらかい」は「頭」から連想された語で、「頭がやわらかい」は状況に応じて融通がきくという意味で、関連語であると考えられる。

4-3-11 「気前よい義」の集計

(出現度数=3)

この項目では「金」が3回の出現度数を示した。慣用句「金の切れ目が縁の切れ目」は金銭によって成り立った関係は金が尽きれば絶えてしまう意味として使われている。

4-3-12 「それる義」の集計結果

(出現度数=2)

この項目では、対象語の「野球やゴルフの打球」、関連語として「ハンドル」が出現した。

4-3-13 「電気」に関連する語の集計結果

(出現度数=75)

流れ	電気9 電源8 電球8 スイッチ4 ライト2 暗い	32
エネルギー	電池27 エネルギー バッテリー 蛍光灯	30
その他	充電11 タイマー メーターが振り切れる	13

この項目は辞書に載っていないが、「電気」に関連する言葉が結構出現したため、一つの項目にまとめた。その中で「電池」が一番多く、27回の出現度数が得られたが、それと関連行為「充電」は出現度数11を示している。「電気」「電源」「電球」なども高い出現度数を占めている。電気や電球が切れると、電流の流れが途切れる。電気やバッテリーが切れると、中に保存しているエネルギーがなくなる意味で用いられている。「暗い」は「切れる-電球-暗い」と書いている回答によるので、この項目に入れた。

4-3-14 慣用表現に関する集計結果

(出現度数=7)

痺れ 割り 張り すり 見 途 身 (身を切る寒さ)

「痺れが切れる」という慣用表現があり、体の面で「しびれて、立ち上がられない」という具体的な意味であり、「痺れを切らす」だと、「これ以上待てない気持ちになる」の精神面での意味をも持っている。「張り」「割り」「すり」は「切れる」から直接に連想したので、「割り切れる」「張り切れる」「すり切れる」という合成語だと推測できる。「割り切れる」は「割り算で、端数が出ないで答えが出る」「了解・納得できてすっきりする。多く打消の形で用いる」などと用いられるため、可能表現の用法も考えられる。「張り切れる」は「過度に張りふくれて切れる」と『広辞苑』に示されている。「見切る」は「最後まで見る。見終る」「様子を見とどける。状態を見きわめる」「見込みがないと見定める。見かぎる」「商品の売行きを見限って安く売る」などと用いられる。「途切れる」は「往來の人のあしあとが絶える」の意で用いれば、「不連続義」であり、「ゆきさが絶える」の意であれば、「音信不通義」となる。

4-3-15 その他

(出現度数=12)

残念2 舌足らず 栄養 味 洗顔 受身 現実 可能の意味 (切ることができる) 切れない 弱い もろい

5 カタカナ表記「キレル」のマインドマップ調査

今日、「キレル」という表現は、日常用語として頻繁に使用されているが、一方で、その使用の仕方や意味する内容については、必ずしも一致した理解がなされていないように思われる。

「キレル」に関するマインドマップ調査において、出現した延べ語数は732、異なり語数は263である。「切れる」と比べると、述べ語数でも、異なり語数でも下回った。マインドマップから得られたデータの集計結果で、「キレル」の意味範囲が「切れる」より狭いことを示していると思われる。

5-1 「キレル」に関して連想される表現の集計表

以下に示すように「キレル」に関して出現語を類し、出現度数の高い順に並べた。

5-1-1 「暴言・暴力」に関連する言葉の集計表

(出現度数=170)

暴力	暴力27 殺す15 暴れる15 殴る8 ける4 投げる3 家庭内暴力3 自殺2 荒れる 大暴れ 夜の街の殴り合い 暴走 走る 狂う パンチ たたく けがをさせる 服やぶれる 逮捕 傷 血	90
暴言	喧嘩17 暴言3 注意される イってしまう 文句	23
道具やイメージ	ナイフ4 鋭い4 バット3 包丁2 刃物2 割れる2 カッター ハサミ 刃 危ない 激しい	22
その他	いじめ11 犯罪6 少年犯罪5 事件5 おどす2 虐待 凶暴 不良 刑法 少年法 反抗	35

「暴言・暴力」に関連する語としては、「暴力」27、「喧嘩」17、「殺す」15、「暴れる」15、「いじめ」11などが高い出現度数を占めている。「キレル」時に暴言をはき、暴力を振う人が多いことが分かる。暴力を振うことで、体内に貯まっているストレスを外に出して解消できるかもしれないが、コントロールがきかないと殺人などの「犯罪」を惹き起こすおそれがある。

「暴力の道具」に関するカテゴリーの中では、「ナイフ」4、「包丁」2など刃物類が多い。ナイフ、文化包丁を持って人を刺す事件があったため、刃物類の道具が連想されたのであろう。

5-1-2 「キレルの主体」に関する言葉の集計表

(出現度数=143)

若年層	若者51 子供10 中学生10 少年5 高校生4 生徒3 10代3 ガキ3 青少年2 学生 ギャル 17歳 女子高生 チンピラ	96
中年層	親3 中年 父親 母	6
老年層	年寄り	1
その他	長州小力4 現代人4 人間4 おとなしい人3 カンニング竹山3 キレやすい人2 ダチョウ倶楽部 キレ芸 エリートサラリーマン すぐにキレル人 自信過剰者 熱血教師 普通の人 ガンコ者 やんキー 暴走族 暴力団 ヤクザ 男子 先輩 店員 先生 警察あの子の言動に対して 両親に対して 人がかわる	40

「キレルの主体」として一番出現したのは「若年層」で、「若者」51、「子ども」10、「中学生」10、「少年」5、「高校生」4で、合計96と高い出現度数を占めている。

上記の項目を見ると、学生から高齢者までの年齢層、店員やエリートサラリーマンなどさまざまな職業、男子や女子高生などの男女ともに出現している。

長州小力は4回、カンニング竹山3回など「キレ芸」の芸人が出現している。

5-1-3 「キレルの条件と原因」に関する言葉の集計表

(出現度数=115)

性格	短気21 ひきこもり2 性格2 内気2 衝動的 忍耐力がない 気性が荒い	30
社会環境	学校6 家庭4 テレビ3 社会問題3 しつけ2 現代病 人間関係 教育 家庭環境一崩壊 学校問題 授業崩壊	22
食生活	カルシウム不足9 食生活の乱れ	10
その他	我慢できない11 ストレス6 コントロール不能4 限界4 無意識のうちに2 判断がつかなくなる2 理不尽2 自分のしている事がわからなくなる 人の言うことを聞かない まわりがみえない どうしようもない 手に負えない 手がつけられない 收拾がつかない 世間知らず 正気をなくす 無理押し付け 空気が重い 自己中心 自分勝手 成長不足 愛情不足 睡眠不足 不足する 激しい しびれ 疲れる 過剰 圧力	53

「短気」が21回の高い出現度数を示した。「我慢できない」が11回、「ストレス」が6回、「コントロール不能」4回の出現度数であった。「キレル」の原因としては、社会や家庭環境、あるいは「短気」「気性が荒い」などの性格の両面がある。

5-1-4 「怒る」に関連する言葉の集計表

(出現度数=112)

動 詞	怒る21 ムカツク8 イラ立つ6 怒なる4 叫ぶ3 とがっている	43
名 詞	逆ギレ12 ブチギレ4 マジギレ3 激怒2 やつあたり キレぎみ いかり うっぶん	25
副 詞	突然7 突発的2 唐突 すぐに 急に	12
擬 声 語	ブッチン4 ぶちっと2 ぶチン ぶっーん カチン	9
接 頭 語	ブチ	1
形 容 詞	腹立たしい	1
形容動詞	マジ	1
フレーズ	腹が立つ3 腹を立てる2 いきなり怒り出す2 キレてはいけない2 頭にくる 頭が沸騰した状態 キレて籠いかかる 青すじを立てる 眉がつりあかる 頭に血がのぼる ちょうむかつく ただ怒るよりもさらに上の怒り 奇声を発する 意味もなくキレル イライラの蓄積	20

「怒る」に関連する語が一番多いが、「怒る」「逆ギレ」「むかつく」「突然」「イラたつ」「腹が立つ」は上位六位を占めている。類似表現としては「腹が立つ」「ぶっつんした」「怒る」「頭に来る」「むかつく」などが出現した。

特に「突然」「急に」「すぐに」「いきなり」「突発的」というような副詞類の言葉も見られたが、短い時間内で怒るという「キレル」の瞬間性や突然性をよく示している。「やつあたり」は「キレル」時の無方向を表わすことであり、「激怒」「ただ怒るよりもさらに上の怒る」などの表現はその程度の激しさを示していると考えられる。「キレて籠いかかる」との回答があったが、「キレて襲いかかる」の書き間違いであると思われる。

5-1-5 「気持ち」に関する言葉の集計表

(出現度数=48)

感覚	怖い18 冷たい3 やばい2 気持ち2 痛い2 不機嫌2 マイナスセンス 気に入らない 感覚 きつい クール うざい ひどい 嫌味	37
感情	情緒不安定5 無感情4 精神2	11

「怖い」「情緒不安定」「無感情」「冷たい」「やばい」が上位5位を占めている。

5-2-1 「賢明義」に関連する言葉の集計表

(出現度数=22)

頭がいい	天才3 頭の回転2 頭がよく働く2 頭がいい 賢い 素早い ジャーブ キテレッツ ひかる 技術 技 とぎすまされた 頭が冴えている 天才肌	18
主 体	優等生2 鳥田紳助 いい子	4

「賢明義」に関連する言葉は、「キレル」の調査では「切れる」より出現度は少なかった。鳥田紳助は、テレビ番組で人気のお笑いタレント、司会者として活躍している。

5-2-2 その他

(出現度数=44)

アサヒスーパードライ ビール おとなしい 音信不通 言葉遣い おおげさ 口ごたえ とぎれる 頭の糸 スイッチ 異次元 きずな 非現実 集中力 バグる くさり メガネ バイク 比喻 成績 極端 定期 可能 仕事 動き のど 理性 無口 甘え 無視 血圧 血管 都会 東京 色白 固い 脳力 声 瓶 数 体 涙 エネルギー

6 まとめと今後の課題

「切れる」と「キレル」の関係はマップで表したら、以下の図2のようになる。

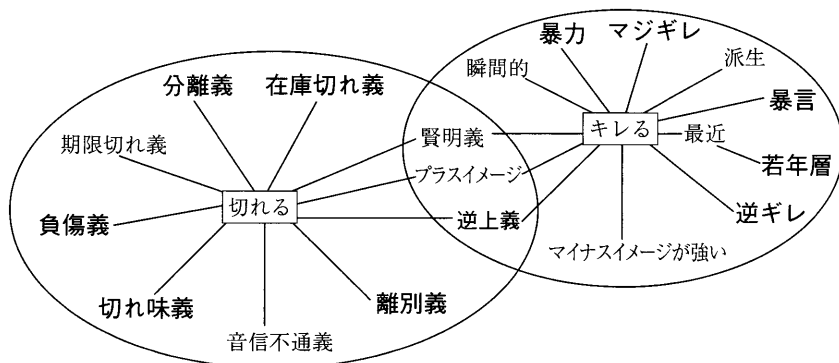


図2 「切れる」と「キレル」の関係図

図2の二つの円はそれぞれ「切れる」と「キレル」に対するイメージや意味範囲を示している。二つの円が重なっている部分は両者に共通する意味領域である。本調査から次のことが言える。

1) 「切れる」は、分離義、切れ味義、在庫切れ義、離別義、負傷義など約15項目にわたる意

味範囲をカバーする多義語であり、日常生活に緊密に関わっている。

- 2) 一方、カタカナ表記の「キレル」は、逆上義を中心に主に「怒る」意味合いを分担しており、「キレル」が「切れる」の派生的意味と機能の一部を分担している。
- 3) 「切れる」の出現した延べ語数は897、異なり語数は201であったのに対して、「キレル」の出現した延べ語数は732、異なり語数は263であり、「キレル」が「切れる」の派生的意味と機能を一部分担しているだけでなく、使用頻度と関心が高いと言える。
- 4) 「切れる」の意味範囲の中にも「堪忍袋の緒が切れる」など逆上義「キレル」に係る語が17含まれており、『現代用語の基礎知識』(1987)に初出した「切れてる」の表記法が残存しているとも言える。逆上義の「切れる」表記がすべて「キレル」に移行したわけではない。
- 5) 「キレル」の中には、プラスイメージの「賢明義」に関連する言葉も22語出現しており、「切れる」の中のマイナスイメージの逆上義だけを分担しているわけではないことがわかる。
- 6) 「切れる」はプラス・マイナス・ニュートラル(中立的)に使用されるが、「キレル」は若年層を主体に、「暴言」の域を超えて「暴力」や「犯罪」のマイナスイメージで用いられる傾向が強い。
- 7) 「逆ギレ」「プチギレ」「マジギレ」など『現代用語の基礎知識』(1999)に掲載された語が、死語となることなく、現在も使用されていることがわかった。ただし、本調査では『現代用語の基礎知識』の1986年から1999年に断続的に掲載された「むかつく」の意の「むる」は出現しなかった。
- 8) 1998年に「MK5」(まじ切れる 5秒前)「MM」(まじむかつく)「超MM」(超まじむかつく)などの語が『現代用語の基礎知識』に掲載されたが、本調査では出現しなかった。

今回の調査において、若者が多数を占め、50代、60代の人はい少ないことが調査結果に影響したと思われるので、各年代にわたってバランスよく調査することが今後の課題となる。

本稿では、マインドマップによって、「切れる」と「キレル」の使用実態と意味範囲を明らかにしたが、男女別の差異や地域別の差異に関しては、今後の課題としたい。

また、4-3-13「電気」に関連する語群に関しては、辞書類の記述にちょうど当てはまる項目がないことから、別項目にした。本調査において未分類項目と言ってもよい状態であるが、辞書類の記述も不十分であり、時代の流れに対応しきれていないのではないと思われる。

従来の選択式のアンケート結果から見ると、マインドマップ調査は、中心概念のみを指定して調査するため、予断を排し自由な回答を得ることができるという利点があるが、回答者の意図がわからない意味不明の語に関しては、分類ができないという問題点もある。本稿では、紙幅の関係もあり、自由記述の部分を十分に生かし切れていない。本調査の不十分な点を、関係する文献調査、インターネット検索による調査、インタビュー調査などで今後補っていきたい。

【参考文献】

- 青木和雄 (2000) 『HELP! キレル子どもたちの心の叫び』 金の星社
- 石田一宏 (1998) 『キレル子、キレない子』 大月書店
- 稲垣吉彦 (2006) 「若者ことばクロニクル」『月刊言語』3月号、大修館pp.34-39
- 岩波書店 (2008) 『広辞苑』第六版
- 韓飛 (2009) 「日本語の新語に見る日本事情—<オタク>関連語を中心に—」山口大学人文学部国語国文学会発行『山口国文』第32号、pp.121-134
- 許恵玉 (2009) 「『日本文化』と『中国文化』のイメージ比較研究—日本人のマインドマップ調査による検討—」山口大学人文学部国語国文学会発行『山口国文』第32号、pp.136-150
- 倉治ななえ (1999) 『キレル理由は歯にあった』 KSS出版
- 窪園晴夫 (2006) 「若者とこばの言語構造」『月刊言語』3月号、大修館pp.52-59
- 斎藤孝 (2002) 『「ムカク」構造』 世織書房
- 佐々木翔太郎 (2008) 「日本と中国における『鬼』のイメージの差異について—マインドマップ調査の分析—」平成20年度日本語教育学会『第10回地区研究集會予稿集』 pp.14-23
- 自由国民社 (1983-2006) 『現代用語の基礎知識』
- 自由国民社 (1999) 『最新日本語活用事典』
- 陳仲鵬 (2009) 「日本語と中国語の同形語〈先生〉について—マインドマップ調査による意味機能分析—」山口大学人文学部国語国文学会発行『山口国文』第32号、pp.152-166
- 鄭香蘭 (2007) 「若者語におけるル言葉について—アンケート調査の分析—」山口大学人文学部国語国文学会発行『山口国文』第30号、pp.93-118
- 鄭香蘭 (2008) 「若者語におけるル言葉について (Ⅱ) —第二次アンケート調査の分析—」山口大学人文学部国語国文学会発行『山口国文』第31号、pp.56-72
- Tony Buzan & Barry Buzan (1993) *THE MIND MAP BOOK* BBC BOOKS (=1996 『これが驚異のマインドマップ放射思考だ!!』 邦訳田中孝顕訳騎虎書房)
- 長谷川博一 (2005) 『子どもたちの「かすれた声」キレル深層心理を読み解く』 樹花舎
- 星一郎 (2000) 『アドラー博士のキレル子どもにしない法』 サンマーク社
- 本田恵子 (2002) 『キレやすい子の理解と対応』 ほんの森出版株式会社
- 三宅知宏 (2002) 「『乱れ』と規則性」『月刊言語』8月号 大修館、pp.48-51
- 宮下一博・大野久 (2002) 『キレル少年の心—発達臨床心理学的考察—』 北大路書房
- 米川明彦 (1996) 『現代若者ことば考』 丸善株式会社

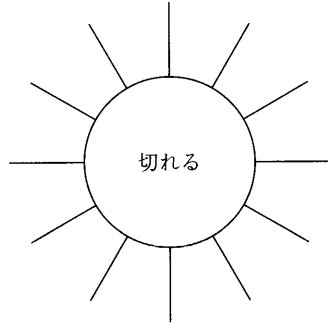
(リ・ギョウナ)

【別添資料1】

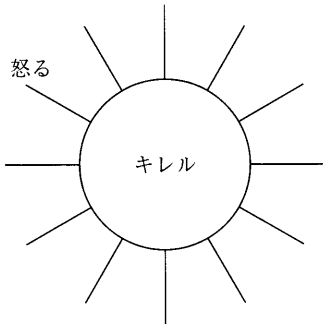
言語に関するマインドマップ調査

以下の二語から連想することばまた表現を例のようにお書きください。

(例) 賞味期限



(例) 怒る



他に気が付いたことがあれば、お書きください _____

性別 (男・女) 国籍 () 出身地 () 都道府県

職業 (学生・社会人)

年齢 (10代・20代・30代・40代・50代・60代以上)

ご協力ありがとうございました